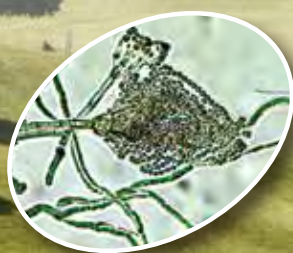


サッチ・有機物分解促進材 分解くんCL

年間を通じて、強力にサッチを分解



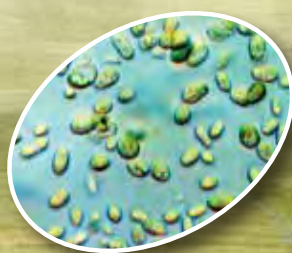
Penicillium sp. CF-1
(FERM p-16479)

腐朽した木材より分離
適温：10℃前後
セルロース分解能



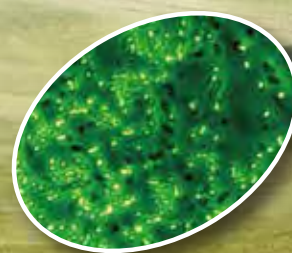
Bacillus sp. BS-1 SMCPⅢ
(FERM p-12516)

根圏土壌より分離
適温：30℃前後
セルロース分解能



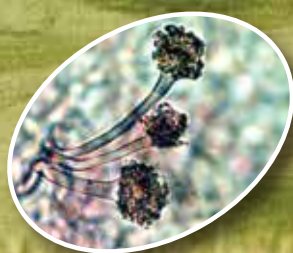
Debaryomyces sp. LB-31
(FERM p-16484)

北海道サロベツ泥炭より分離
適温：10℃前後
リグニン分解能



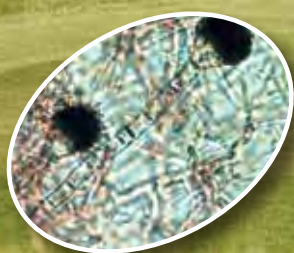
Bacillus sp. LB-5
(FERM p-16485)

パーク堆肥より分離
適温：50℃前後
リグニン分解能



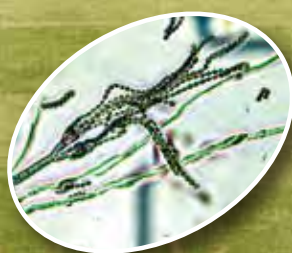
Aspergillus sp. LF-3
(FERM p-16482)

土壌より分離
適温：30℃前後
リグニン分解能



Aspergillus sp. FS-35
(FERM p-16483)

北海道サロベツ泥炭より分離
適温：30℃前後
リグニン分解能



Penicillium sp. FS-29
(FERM p-16481)

北海道美唄泥炭より分離
適温：10～30℃前後
リグニン分解能



Penicillium sp. FS-26
(FERM p-16480)

北海道泥炭より分離
適温：10～30℃前後
セルロース分解能

8つの微生物が強力に効く!!

●使用場面・効果

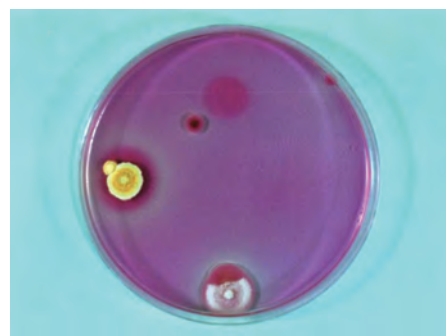
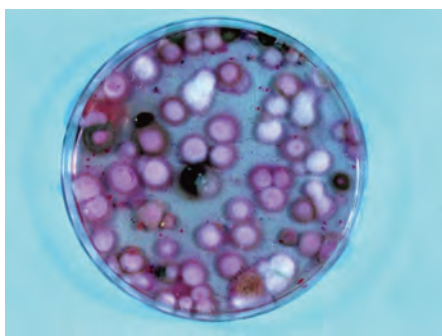
- サッチの減少に。オールシーズン強力な分解力
- 有機物の増加で土壌物理性が悪化しているターフに
- フェアリーリング病などの土壌病害が多い芝生の改善に
- 有機物分解産物の施肥効果による、芝生の色・密度の改善に
- 土壌に固定された窒素・リンなど難分解化した養分を解放

●使用方法

- 年2～3回(春・秋) 100～200g/m²散布
- コアリング後の処理が効果的です。
- 微生物の定着を促すため、初回は多めに、年1回以上の定期使用をお勧めします。

●土壌微生物相の改善試験例

- 土壌中の微生物を20℃で培養した結果、分解くんCLを施用した土壌(写真左)では、無施用の土壌(写真右)に比べて微生物の種類・数共に多くなっていました。



●使用上の注意

■効果的な散布のために

- ・殺菌剤には本資材の菌に影響を与えるものもあるので、混合散布は避けてください。詳しくは販売店にお尋ねください。

■保管・廃棄上の注意

- ・開封後は吸湿する恐れがありますので速やかにご使用ください。
- ・直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で密封保管してください。
- ・袋は中身を使い切り、関係法令に従い処理してください。

■安全な散布のために

- ・散布時は、保護メガネ・マスク・作業着などを着用し、製品を吸い込んだり浴びたりしないようご注意ください。
- ・皮膚に付いた場合は水と石鹸で洗い流してください。
- ・目に入った場合は、すぐに水道水で洗った後、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を洗浄し、大量の水を与え、直ちに医師の手当を受けてください。



東洋グリーン株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
TEL.03-3249-7731(代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>